

＜コラム⑥＞阿南市生物多様性ホットスポットについて
～那賀川・桑野川河口域の豊かな自然を次世代へ～

豊かな自然を守るため、阿南市は、貴重な生物がすんでいるところ・豊かな自然が残されているところ・地域の人たちによって保全活動が行われているところ・持続可能な利用と保全の両立が期待できるところの中から、平成27年2月に6箇所を生物多様性ホットスポットとして選定しました。

那賀川流域では、那賀川・桑野川河口域が選ばれました。辰巳工業団地を挟むように南を桑野川、北を那賀川が流れています。

河口域一帯は、シオマネキやトビハゼなどの貴重な生物が確認されており徳島県内でも数少ない自然豊かな環境の一つです。

那賀川河口北側にある出島野鳥園もホットスポットに選ばれており、季節ごとに訪れる様々な野鳥を観察することができます。

また、園内に広がる塩生湿地は、湿性植物や昆虫がすむ場所として、とても貴重です。湿地を保全する活動としての草刈りや、野鳥の魅力を伝える観察会が長期間続けられています。

その他に、ササユリが有名な伊島やアカウミガメの産卵場所である蒲生田、オヤニラミが生息する桑野川上流、アナンムシオイガイが近年発見された太龍寺近辺がホットスポットに選ばれています。



那賀川左岸河口干潟



蒲生田、オヤニラミが生息する桑野川上流、アナンムシオイガイが近年発見された太龍寺近辺がホットスポットに選ばれています。

◆ 水辺からはじまる生態系ネットワーク全国会議

平成28年度に発足した全国会議で現在26の市町村が参加しており、徳島県からは、鳴門市と阿南市が会員になっています。(平成30年度現在)

河川等の水辺から始まる生態系ネットワークの取組を全国的に推進していくために、市町村長が互いの情報を共有する事を目的として会議が開催されています。

那賀川流域には、ナベヅルやコウノトリの飛来も確認されており関係機関との情報交換を行いながら、生息環境の保全につなげていくことが重要です。